

～元気にあいさつ明るい新発田～

広報はばたき

第53号

新発田青少年健全育成市民会議



この一年を振り返って

新発田青少年健全育成市民会議会長 小出 隆一

今年度の始まりは、新型コロナウイルスの感染もひとまず落ち着き、計画した行事を開催できると考え、六月の総会、七月の市民大会（私の主張）を縮小した形で実施しました。七月の市民大会は、その後の感染状況を考えますと無理しても開催して良かったと考えています。その後、感染が急激に拡大したため（第五波）九月からの行事は、その都度役員で集まり検討しましたが中止せざるを得ませんでした。年末には収まりかけた新型コロナウイルスも、現在（令和四年二月初）ではオミクロン株に変化し、第六波となり全国的に感染者が増えたため、行事ができない状態が続いています。来年度は早く終息に向かい、この市民会議が新発田市の青少年の健全育成のために活動できることを願っています。

新型コロナウイルスの影響を受けて三年目になります。子供たちはそれぞれの学校においても、新しい生活様式、新しい学校生活を求められ、今迄にないストレスを抱えて生活をしているものと思います。コロナ後のことを考えますと、子供たちには今の困難な状況をしっかり乗り越え、その後の学校生活においても、何事にも前向きに、また活発に取り組めるよう精神面

の元気を維持して欲しいものです。今は我慢の時です。保護者や関係する方々は、子どもたちが次に頑張れるよう大きな気持ち、温かい気持ちで見守ってほしいと思います。

市民会議としては、来年度の計画をきちんと見直し、明日の新発田を担う青少年のため、新型コロナウイルスの影響を見ながらではありますが、行事については実施していくつもりです。

標語についても、「元気にあいさつ 明るい新発田」のもと、四年間活動が続けてきましたが、皆さんがより活動しやすいものにするため、皆さんからのご意見をいただきたいと思っていますのでよろしく願います。

本会議の運営・活動に関しては、各町内会自治会のご協力のもと、市民各世帯の会費と市補助金によって賄われております。今年度もご協力大変ありがとうございます。感謝申し上げます。市民皆々様のご協力に敬意を表するとともに、青少年の健全育成により一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新発田市少年補導委員会

補導委員は一般補導委員と教職員補導委員があり、市内巡回による補導は一般補導委員が担っています。

市内全域を7コースに分けて、学校周辺、公園、駅構内、ゲームセンターなど青少年の出入りが多いところを巡回しています。

補導にあたっては、親しみのある言葉で話しかけ、相手の話をよく聞き、不適切な行動がある場合は、「捕まえる」のではなく優しく注意することを心がけてやっています。

以前は、喫煙等の少年非行に出会ったことがありましたが、今では全くと言っていいほど見受けられません。

反面、SNSを通じてのいじめや引きこもりなどの問題が出てきており、外からは見えにくい状況があります。

補導活動では、下校時の子ども達への声掛けのほか、不審者発生地域の巡回等の防犯パトロールも併せて行っています。

これからも、子ども達が安心・安全で過ごしていけるよう、「大人がいつも見守っているよ」という姿が見える活動を続けてまいりたいと思います。





アップでーと

市民会議の構成員のうち各地域や各専門分野で健全育成活動を実践する組織について、毎号、シリーズで紹介します。それぞれの最新情報（アップデート）にぜひ注目をお願いします。

御免町小・一中校区青少年健全育成会議

新型「コロナの影響で、今年も活動がほとんど中止されました。そんな中これだけは実施できると心待ちにしていたのが十二月十四日の義士祭で、少年剣士による市中パレードに協力することでした。毎年市中パレードは途中市役所札の辻で休憩する時に、寒い中冷えた体に温かい飲み物などを参加者へ提供してきました。今年も事前の準備をして当日を迎えましたが、朝に事務局から電話をいただき新型コロナウイルスのクラスターで少年剣士の参加者が極端に少なくなるので、市中パレードは中止することでした。残念でしたが、受け入れざるを得なく、事前に購入した飲み物はフードバンクしばた様へ寄贈させていただきました。

御免町小学校区で毎年行っている行事にふれあい町小フェスタ（夏まつり）があります。この二年間コロナで中止せざるを得ませんでしたが、令和元年に実施した模様を紹介します。



「ふれあいの場」として実施してきました。子どもの遊びたい欲求を地域の子どもの中で満たし、遊びの持つ教育力と集団の力で、子ども達ひとり一人の成長を願う一助にしようとして、射的やスカットボール、サッカーチャレンジゴールなど七種類のゲームで遊び、絆を深めてきました。この年は「特別企画」として、一中吹奏楽部と御免町小学校金管部の合同演奏が学校・保護者の協力を得て行うことができ二百七十名からなる参加者で大盛況でした。



豊浦地区青少年健全育成協議会

令和三年五月十六日(日)に豊浦地区公民館主催（豊浦地区青少年健全育成協議会啓発活動の一環）で『湯ったりウォーク』を実施した。

『湯ったりウォーク』とは「カリオンパーク」をスタートし豊浦地区内を散策し、約二時間かけてゴールである「あしゆ湯足美」までの全行程5kmをウォーキングするものである。当日は、新発田市スポーツ推進委員をスタッフに迎え、総勢六十三名でウォーキングを行った。小雨が降る中、坂道もあり好条件ではなかったが、幅広い世代の参加があり、初対面の方たちとも会話を楽しみながら親睦を深め、歩くことができた。有意義な時間を過ごすことができた。



新発田市スポーツ少年団

わ たしたち、新発田市スポーツ少年団は、スポーツ少年団の理念を基に「スポーツを通じて少年の心身を鍛錬し健全育成すること」を目指し、現在、サッカー・ミニバスケッ

トボール・バレーボール・軟式野球・バドミントン・ラグビー・柔道・剣道・空手道・少林寺拳法・相撲・ドッジボール・硬式テニス・ソフトテニスの十四種目、二十八団体、幼児から高校生まで七百二十四名が活動しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、結団式をはじめ、各種大会の中止や活動の制限等により思うような活動ができませんでしたが、子どもたちのもつ「無限の可能性」を信じ、これからもスポーツを通じて生まれる仲間との連携や友情を大切に、活動を支えてくださる周囲への感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって日々の練習に励んでいきたいと思っています。

興味のある方はぜひ一度お気軽に各団体にお問い合わせください。



加治川地区青少年育成協議会

加 治川読書クラブは、今年度も加治川小学校で二日間に渡り、全クラスで読み聞かせを行いました。「コロナの影響で、学年単位だったのを少人数のクラス単位でできて、かえって良かったです。」との会長さんのお話でした。

平成二十年頃、ボランティアで読み聞かせや指人形などの活動を行っていたこのクラブに、当時の協議会長さんから「頑張つて立派な活動をしているね。」と声がかかり、活動への助成が始まったとのことでした。「それまで本や消耗品などを自分で購入していたのでとても助かりました。」との前会長さんのお話ですが、子どもたちへの読み聞かせのほか、下級生に読み聞かせをするときのコツを上級生に教えてあげるなど、クラブにとっても、大切な活動になっているそうです。

三十年以上の歴史があり、輪読会からはじまったクラブの活動は、活動の幅を広げ新しい会員へ引き継がれています。今年度は、昔語りを市の歴史講座や公民館まつりで披露するなど、会員の技量もさらに高まっており、協議会からの一助が実を結んだ事例となっています。



**ひとりで悩まず
まず相談** **24時間受付**

SOS



新潟県こころの相談ダイヤル
新潟いのちの電話（新発田）
24時間子どもSOSダイヤル

0570-783-025
0254-20-4343
0120-0-78310

新潟県いじめ相談メール ijime@mailsoundan.org
新潟県いじめ相談電話 0254-26-7509

発行 新発田青少年健全育成市民会議
事務局 新発田市青少年健全育成センター
住所 新発田市緑町2-6-36
電話 0254-26-0897

編集委員 猿子 洋司 水野 善栄
遠山 明美 浅倉 真美